

アルミ容器（小ロットエンボス） データ作成手順

はじめに



Illustratorを使用して作成してください。
入稿データから、3Dデータを作成します。
入稿データの作り方で、3Dデータ作成ができない場合があります。
※弊社側でデータを編集することは行っておりません。

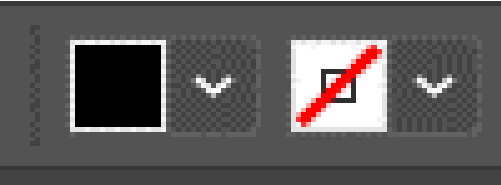
基本作成の内容で作成してください。 ※2ページ以降にいくつか手順を記載しています。

基本作成手順

エンボス部にするデータは、図形である必要があります。
線は、アウトライン化する必要があります。
画像では作成することができません。
フォントは、アウトライン化する必要があります。

種類	必要な処理
図形	-
フォント	アウトライン化
線	アウトライン化
画像	使用不可

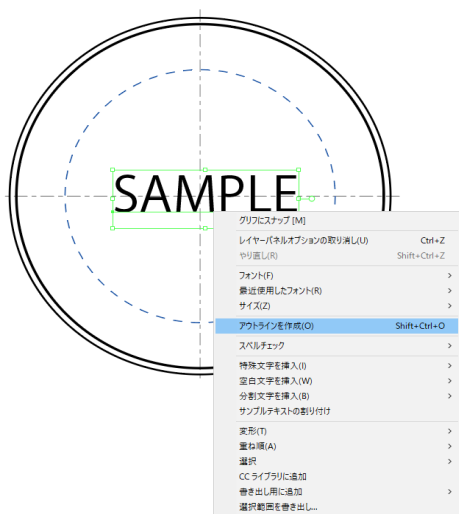
エンボス箇所をK100%の塗りで作成してください。
※線で色を付けないでください



重要：1つのオブジェクトになるように作成してください

データ	ダメな構造	良い構造

フォントのアウトライン



フォントを選択



右クリック



アウトラインを作成

※アウトライン後に文字内容は変更できません。

線を図形化（パスのアウトライン）

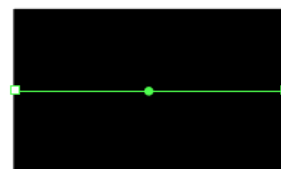
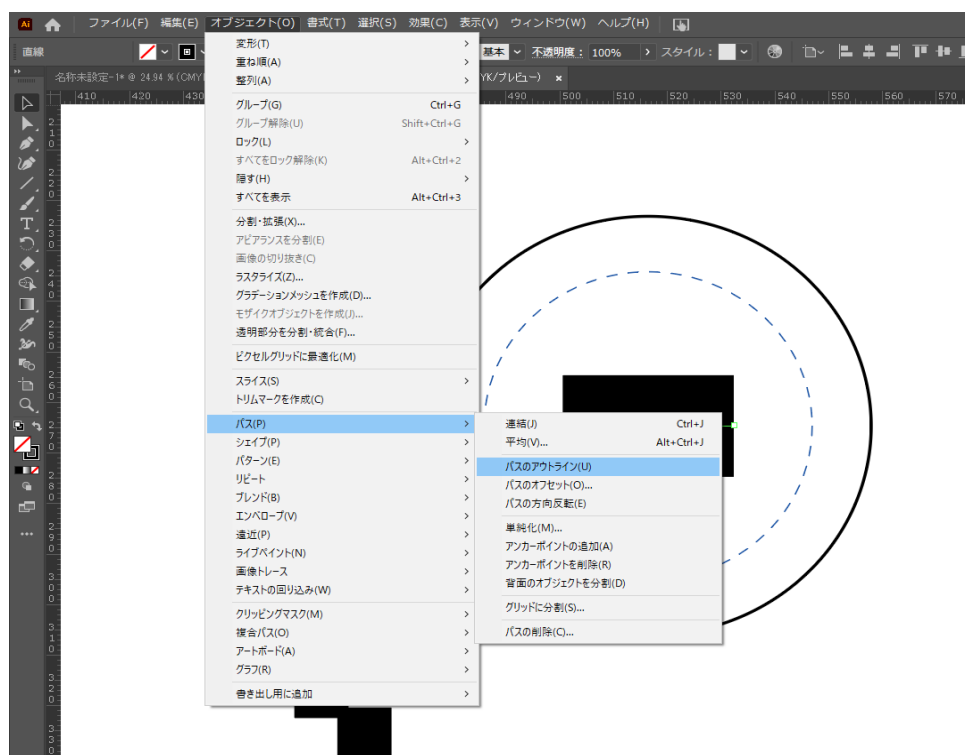
線を選択します。



ファイルメニューのオブジェクトからパスを選択

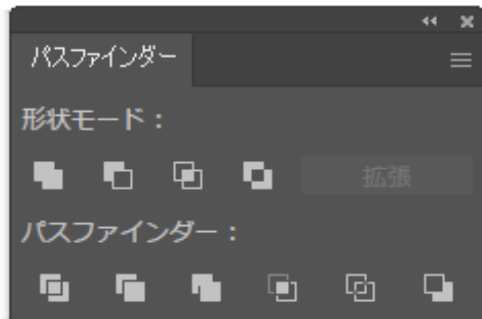


パスのアウトライン



パスファインダー

パスファインダーは、1つのオブジェクトにする為によく使う機能です。



パネルが出ていない場合

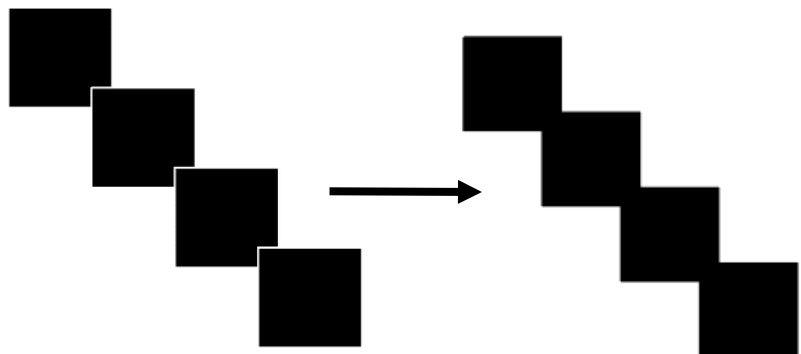
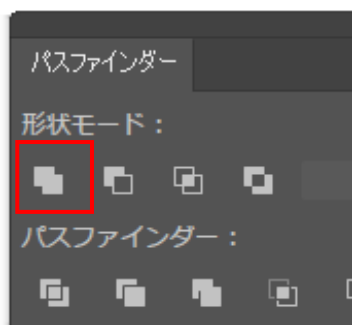
ファイルメニューの「ウィンドウ」から表示して下さい。

<参考サイト>

https://sokoage.com/magazine/howto_passfinder/

<合体：複数のオブジェクトを1つオブジェクトに>

(例) 4つの四角のオブジェクトが重なっている→1つのオブジェクトになる



<中窓：重なりあうオブジェクトで抜く>

(例) 四角の上に丸のオブジェクトが重なっている→丸が抜かれた状態のオブジェクトになる

